

令和6年度 第4回 学長選考・監察会議議事要録

日 時：令和7年2月10日（月） 14：00～14：20
場 所：オンライン会議（Teams）
出席者：佐々木委員（議長）、飯塚委員、大谷委員、尾崎委員、沼田委員、岡田委員
（理学部長・基礎自然科学野長）、乾委員（工学部長・応用理工学野）、
宮口委員（農学部長・応用生物学野長）
欠席者：原口委員（人文社会科学部長・人文社会科学野長）、勝二委員（教育学部長
・教育学野長）
監事監査規則第9条第2項による出席者：人見監事、白田監事

議 題 審議事項

- 1 令和7年度学長選考の進め方について
- 2 国立大学法人茨城大学学長選考の基準について

議 事 概 要

I 議事要録の確認

議長から、令和6年度第3回の学長選考・監察会議議事要録について、事前に各委員に確認いただき、大学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

II 審議事項

1 令和7年度学長選考の進め方について

議長から、令和7年度における次期学長選考の進め方や会議スケジュールについて、資料1に基づき審議願いたい旨提案があった。次いで、事務局から資料の説明があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

なお、より詳細なスケジュール、各会議の審議事項等は、令和7年度における本会議において改めて確認することとなった。

2 国立大学法人茨城大学学長選考の基準について

議長から、次期学長選考にあたり、学長に求められる職務や資質・能力を定める学長選考の基準について、資料2に基づき審議願いたい旨提案があり、次いで、事務局から資料の説明があった。

その後、議長より、事前に各委員に対して行った意見照会において、以下のとおり意見の提出があった旨説明があった。

・1について

「学内外からの敬意や信頼」とあるが「敬意」は不要ではないか。また、「敬意」を得る必要もないと考える。

・2について

「財政基盤を確立」とあるが、今後、財政基盤はますます厳しくなることも予想されるため、「確立」より「強化」のほうが適切である。

- ・全体を通じて

「～者であること」という表現で終わっているが、端的に「～者」で良いと考える。他大学は「～能力」「～することができる」というそれぞれの能力が記載されており、求められる能力・資質が端的に記載されているため、本来はそちらの方が良いと考える。

審議の結果、本日の意見を踏まえた修正案を再度メールにて確認した上で決定し、公表することとなった。

【主な意見】

- 2について、「財政基盤を確立する能力を有している者」とあるが、その判定はできないことから、「意欲を有する」や「真摯に取り組む姿勢がある」など、選考の際に判断できる基準とすべきである。
- 2について、事前提出意見において「財政基盤を確立」とあるのを「財政基盤を強化」と改めるべきとの意見があるが、財務基盤の確立に向けて取組を進めていく必要はあることから、改めるべきではないと考える。

2 その他

次回の開催は令和7年4月を予定。